

がんサバイバーの女性の
ためのヨガ教室



Can+s
Yoga!
キャンズ・ヨガ

オンラインレッスン開始！

4月に始動予定だった新事業「がんサバイバーの女性のためのヨガ教室“キャンズ・ヨガ”」は、新型コロナウイルスの影響で、4月、5月ともに、開催を見合わせました。先の見通しが立たない情勢の中、当面の間スタジオでの開催を見合わせ、zoomによるオンラインレッスンという形で6月にスタートしました。

初回は少人数でスタートしましたが、自身も乳がんサバイバーである講師の中里貴子先生の指導は、参加者に寄り添った温かさがあり、とても好評でした。

2回目となる7月のレッスンには、遠くは岡山県からも参加されるなど、オンラインならではの良さもあり、参加者も少しずつ増えてきています。レッスン後には、がんの術後の体の変化や動かし方に関するアドバイスなど、先生から参考になるお話もいただき、充実した内容でした。



7月8日のオンラインレッスンの様子



8月、9月も開催予定！

次回レッスンなど、詳細はwebへ！

<https://www.jkkyoukai.com/cans/>

がんになっても社会から孤立しない！

ヨガを通じて自分の心や体と向き合おう！

新型コロナの影響 寄付先団体の活動は今？

一般社団法人 全日本知的障がい者スポーツ協会

東京パラリンピックの延期が大きな打撃に…

ANISAは、国内の知的障がい者スポーツの統括団体として、トップアスリートの育成・支援とともに、日常生活の中で知的障がい児・者がスポーツを楽しむことのできる社会の実現に取り組んでいます。

東京2020パラリンピックへの盛り上がりとともに活動してきた本団体にとって、パラリンピックの延期は大きな打撃となりました。加盟する競技団体及びANISA共催事業も中止となり、活動資金の多くを頼ってきた寄付も凍結されてしまいました。活動と資金の両面において、困難な状況に直面しています。また、終息の見えない事態に精神的に不安定になっている選手がいます。

今後の状況を注視しつつ、活動面でも資金面でも新たな形を模索しています。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

認定特定非営利活動法人 日本 IDDM ネットワーク

最終ゴール「1型糖尿病の根絶」まで…

自己免疫によっておこる病気「1型糖尿病」は、血糖値を下げるホルモンであるインスリンを体内で作ることができなくなるため、生涯にわたってインスリン注射を続けなければなりません。日本IDDMネットワークは、患者支援とともに1型糖尿病根絶のための研究助成も行っており、そのためには多くの活動資金が必要です。

しかし、コロナ禍によりセミナーやフォーラムなど集客イベントは中止や延期となりました。企業寄付も減少しており、活動継続に多大な影響を受けています。今後に向けて、webによるセミナーやフォーラムの開催、ふるさと納税等による寄付のお願いなど、新たなやり方を模索しています。

2025年までに1型糖尿病を治る病気にする事、そして最終ゴールであるこの病気の根絶まで活動が続けるため、皆様のご支援をお願いいたします。

【代表】会長 斎藤 利之
【所在地】東京都品川区
【URL】<https://anisa.or.jp/>



【代表】理事長 井上 龍夫
【所在地】佐賀県佐賀市
【URL】<https://japan-idm.net/>



特定非営利活動法人 こどもプロジェクト

【代表】理事長 福田 恵美
【所在地】東京都杉並区
【URL】<http://kodomo-project.com/>



一番必要とされた時期に活動を継続！

およそ3か月もの間、学校が休校になるという未曾有の事態。本来であれば、いつも以上に子どもへの支援が必要とされる状況でしたが、感染拡大予防で会場の使用許可が下りないなどの理由から、多くの子ども食堂が活動休止状態に陥りました。

そんな中、こどもプロジェクトは、団体が運営するカフェを拠点にしていたため、テイクアウトやパントリーという形で、子ども支援を継続することができました。他が閉鎖されていたこともあって需要が増えたため、感染予防対策を徹底しつつ、むしろこれまで以上に活発に活動していたそうです。

今後、地域の親子に食材を配布するためのフードバンクの設立を計画されています。ひとり親家庭などがさらに困窮の度合いを深める状況の中、フードバンク設立は大きな支援になることと思います。どうぞ皆様のご支援をお願いいたします。



パントリー
食材を無料配布する活動。子どものいる家庭やひとり親家庭などに配布。

公益財団法人 日本自然保護協会

【代表】理事長 亀山 章
【所在地】東京都中央区
【URL】<https://www.nacsj.or.jp/>

子どもたちへの呼びかけや社会への提言も

日本自然保護協会は、2万5千人以上の会員や寄付サポーターに支えられ、日本全国で自然を調べ、守り、活かす活動を続けてきましたが、コロナ禍により主催イベントはすべて中止や延期となり、活動の縮小を余儀なくされました。

しかしこの間も、休校中の子どもたちに向けた企画「オンライン自然観察会」「コロナにまけるな！Stay Home with Nature」やメディアリリース「アフターコロナ社会への7つの提言」など、積極的な情報発信を行っていました。今後のイベントについても、いまだ先行きは不透明ですが、オンラインでの開催など、新しい形での活動も続けています。

🌿 団体からのメッセージ

「自然と人間がともに健康になる新たな社会の構築に向けて、これからも日本自然保護協会の活動を応援してください」



自動販売機でできる社会貢献があります

- 飲料1本につき2円が寄付になります
- 支援団体（寄付先）は選べます
- 導入費用は月々の電気代のみ
- 自販機の管理、寄付に関する事務処理など、設置先様でお手間はかかりません



飲料メーカー 自販機オーナー

1本につき2円が寄付金になります



環境・福祉・医療・国際貢献等
活動している団体

ジャパン・カインドネス協会が
責任を持って取りまとめ、
ご指定の寄付先団体に寄付します

「東北3.11基金」を寄付先に指定されている皆様へ

「東北3.11基金」は、東日本大震災で被災した子どもたちを支援するための基金です。毎年4月に支援する団体を公募し、1年間の活動計画をもとに審査・決定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、4月の公募開始を見合わせていました。今月から公募の準備を始め、9月末までに支援団体を決定する予定です。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ゆび募金だより 会報第21号

発行日：2020年7月1日

発行：認定NPO法人 ジャパン・カインドネス協会

〒186-0004

東京都国立市中1-18-41 栄ビル301

TEL: 042-571-2233 FAX: 042-571-2263

Eメール: info@jkkyoukai.com

WEBサイト: <https://jkkyoukai.com/>